

平成30年5月10日

各 位

会社名 東鉄工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 柳下尚道
 (コード番号 1835 東証第1部)
 問合せ先 経営企画部長 飯塚博之
 (TEL. 03-5369-7611)

中期経営計画(2018~2021)『東鉄 3D Power Up 2021』策定に関するお知らせ

当社はこのたび、2018年度から2020年度までの3カ年中期経営計画『東鉄 3D Power Up 2021』を策定しましたので、その要旨につき下記のとおりお知らせいたします。

なお、『東鉄 3D Power Up 2021』の詳細につきましては、5月29日に当社ホームページ掲載予定の「詳細版」をご参照ください。

記

I. 前中計『東鉄 3D Step 2018』の実績

- 前中期経営計画『東鉄 3D Step 2018』におきましては、基本戦略である「3D戦略」が着実に奏功するとともに、数値目標については、以下のとおりの実績となりました。
- 「売上高」は未達となりましたが、「営業利益」、「ROE」は目標を達成、また「総還元性向」につきましては、2018年5月に自己株式取得を実施する予定です。

連 結	『東鉄 3D Hop 2015』 前々中計実績	『東鉄 3D Step 2018』 前中計実績			前中計目標('18/3 最終年度)	
	'15/3	'16/3	'17/3	'18/3	(当初)	('17年5月 変更後)
売 上 高	1,161 億円	1,268 億円	1,306 億円	1,312 億円	1,400 億円	1,350 億円
営業利益	93 億円	124 億円	133 億円	130 億円	120 億円	130 億円以上
ROE	12.5%	14.4%	14.6%	13.6%	10%以上	(変更なし)
総還元性向	24.7%	27%	28%	※	30%	(変更なし)

※ '18/3 期 予定

- 年間配当 58 円 予定 (2018 年 6 月 定時株主総会に付議)
- 自己株式取得実施予定 (2018 年 5 月)
 [取得総額 11 億円 (上限) / 取得株式 35 万株 (上限)]
 (上記自己株式上限額取得の場合、総還元性向は 31.2% を予想)

当初目標達成

変更目標達成

II. 新中計『東鉄 3D Power Up 2021』の要旨

新たな中期経営計画（2018～2021）『東鉄 3D Power Up 2021』の要旨は、下記のとおりです。

1. 『東鉄 3D Power Up 2021』基本方針

(1) **「3D戦略」の継続**

- ・「基本戦略」である「3D戦略」（スリーディ戦略）を継続強化し、
- ・良好な事業環境を最大限活かし、「成長戦略」（X軸×Y軸）により、受注力、キャッシュ創出力を一層強化するとともに、
- ・「クオリティ戦略」（Z軸）との「スパイラル相乗効果」を図ります。

(2) **「Power Up Project」を新たにスタート**

- ・「クオリティ戦略」（Z軸）においては、将来の「Jump」に備え、Z軸を大幅に伸ばし、「基礎体力」を一段と強化するための3年間と位置づけ、「Power Up Project」を新たにスタートさせます。
- ・このプロジェクトを通して、ステークホルダーとの「共通価値の創造」を図ります。
- ・「追い風環境」の今だからこそ、創出キャッシュを有効に活用します。

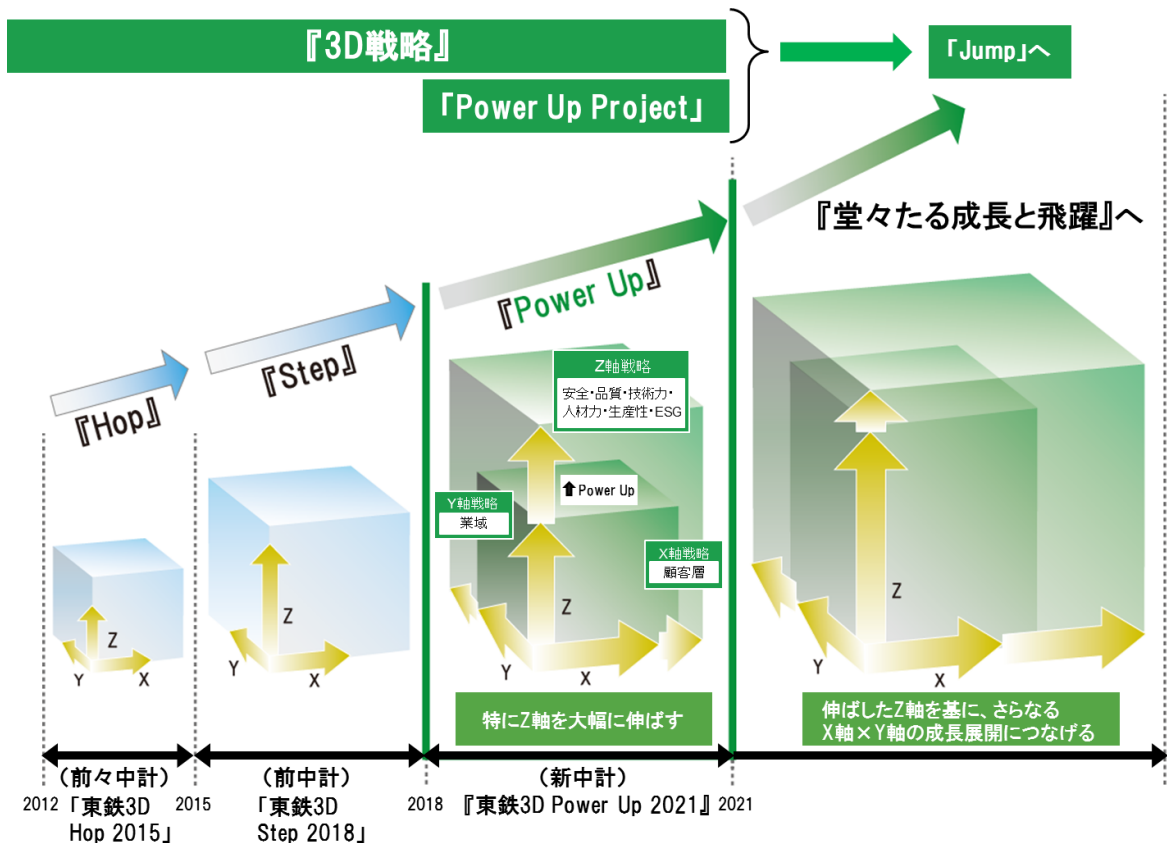
(3) **「堂々たる成長と飛躍」（「Jump」）につなげる**

- ・「Power Up Project」により伸ばしたZ軸を基に、さらなる「成長戦略」（X軸×Y軸）の展開を図り、「堂々たる成長と飛躍」（「Jump」）につなげてまいります。

↓

3ヵ年新中期経営計画(2018～2021) 『東鉄 3D Power Up 2021』をスタート

[Hop = Step = Power Up = Jump への道筋]



2. 「Power Up Project」

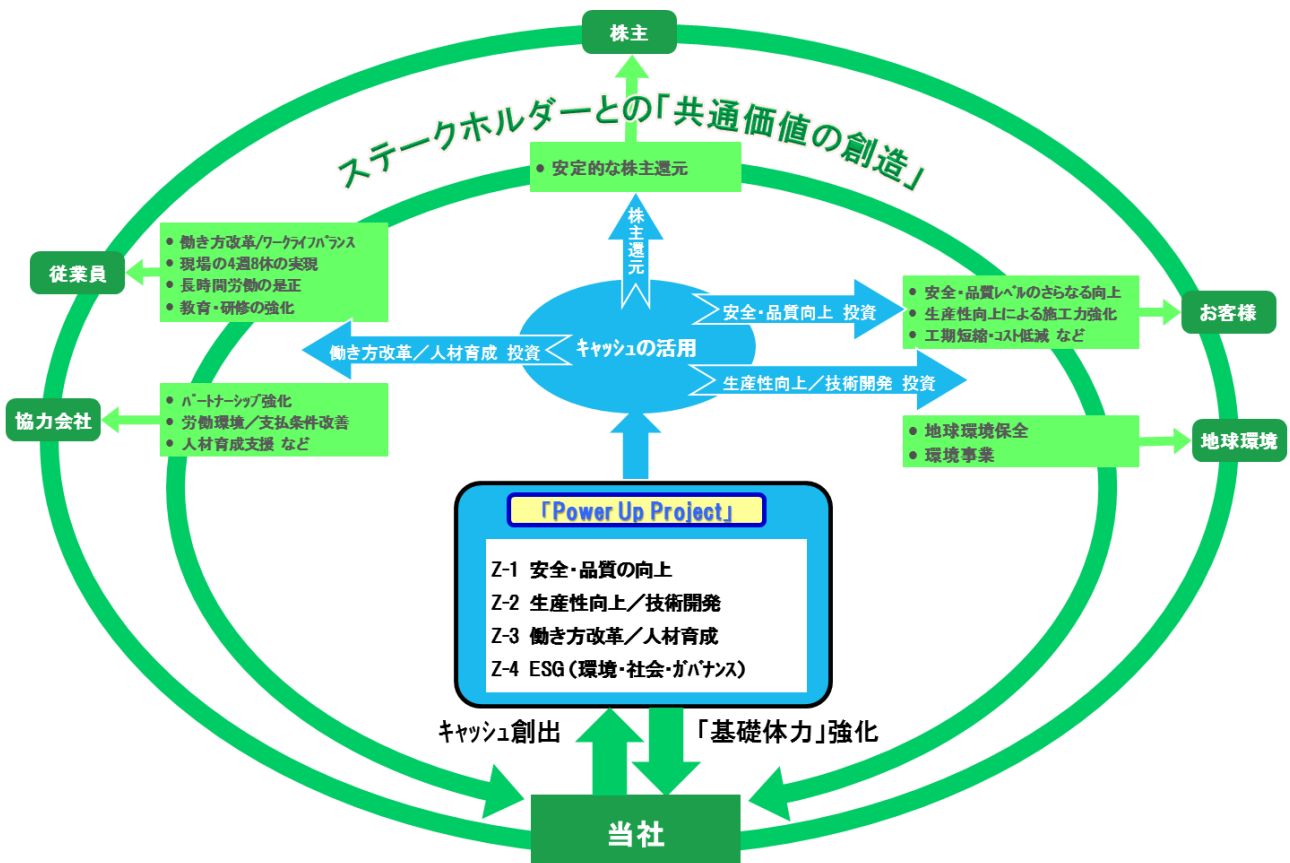
- ・「3D戦略」の「クオリティ戦略」（Z軸）において、特に重要な4つのテーマについて取り組みます。
- ・将来の「堂々たる成長と飛躍」（「Jump」）に備え、Z軸を大幅に伸ばし、安全・品質・技術力・人材力・生産性・ESGなどにおける「基礎体力」を一段と強化させます。
- ・このプロジェクトを通して、ステークホルダーとの「共通価値の創造」を図ります。
- ・事業活動により創出されたキャッシュを有効に活用し、各種施策・投資メニューを推進します。

<「Power Up Project」取り組みテーマ>	
Z-1	安全・品質向上
Z-2	生産性向上／技術開発
Z-3	働き方改革／人材育成
Z-4	ESG(環境・社会・ガバナンス)

→ 当 社	・安全・品質・技術力・人材力・生産性・ESG などにおける「基礎体力」の強化
-------	--

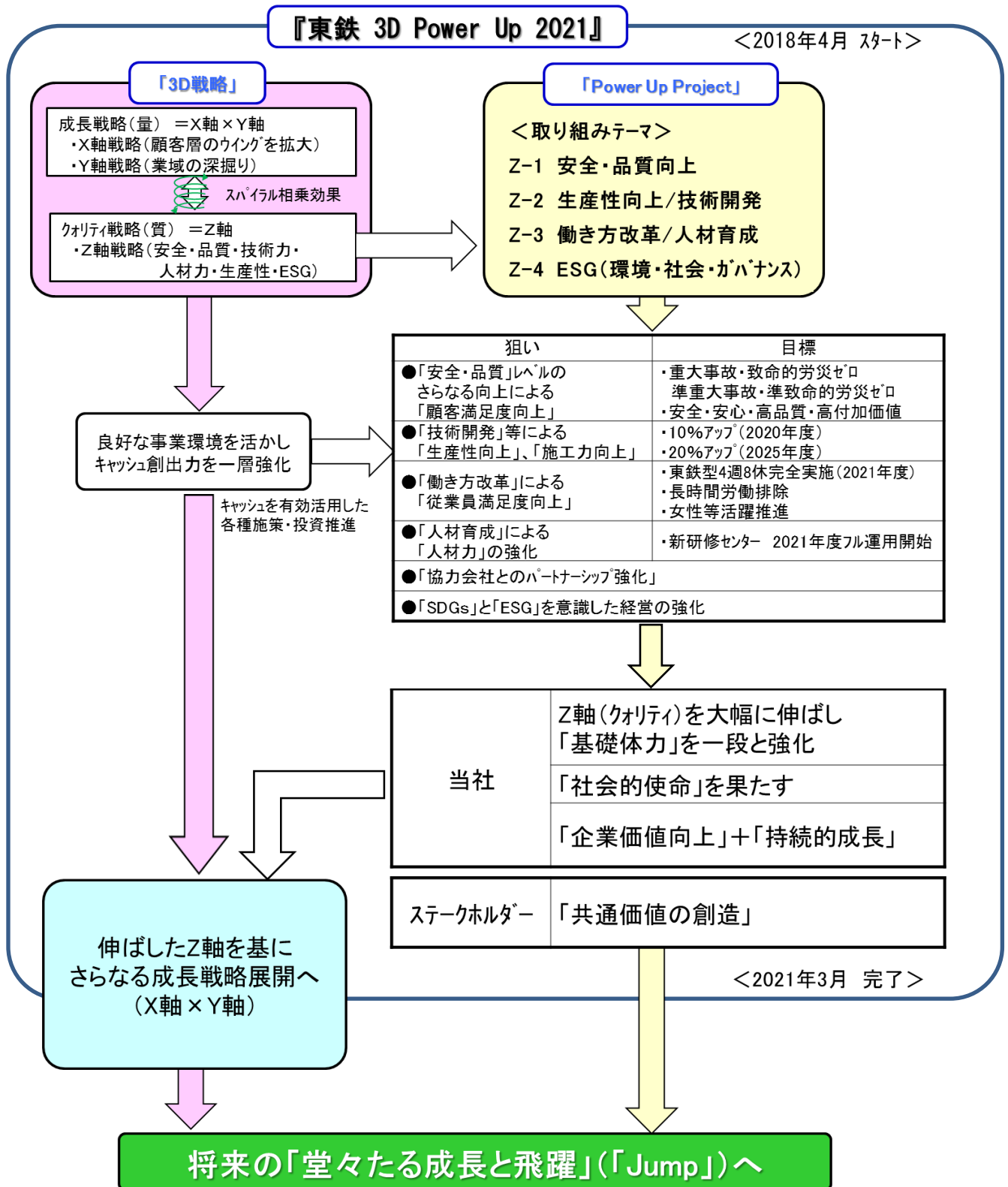
<ステークホルダーとの「共通価値の創造」>	
顧 客	・安全・安心で、高品質・高効率・低コストの施工
株 主	・安定的な株主還元
協力会社	・パートナーシップ強化 ・労働環境（休日確保等）／支払い条件改善 ・人材育成支援（採用/教育・訓練の強化）
従業員	・働き方の改善／ワークライフバランス ・女性等活躍推進 ・現場の4週8休の実現／長時間労働の是正 ・安心して働きやすい職場環境／福利厚生 の充実 ・効果的な教育・訓練項目による人材育成
地球環境	・地球環境保全 ・環境事業

[「Power Up Project」における「キャッシュ活用」のサイクル]



3. 『東鉄 3D Power Up 2021』の「プロセス」と目指す「ゴール」

『東鉄 3D Power Up 2021』における「3D戦略」、「Power Up Project」の概要、及びその「プロセス」と目指す「ゴール」は以下のとおりです。



4. 「3D戦略」と「Power Up Project」施策

(1) <事業環境／事業機会・施策>

- ・鉄道関連工事・耐震・防災・維持・修繕工事などに強みを持つ当社にとって、
当社の特徴を特に活かすことができる事業環境、及び代表的な事業機会・施策は下記のとおりです。

事業環境		代表的な事業機会・施策
A	安全・安心ニーズの高まり	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で快適な交通ネットワークを支える鉄道メンテナンス ・ホームドア整備・駅施設などのバリアフリー化 ・免震マンションなどをはじめとする安心安全な建築物
B	復旧・復興・防災・減災対策	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災への対応 ・首都直下地震対策関連工事 ・土木・建築構築物の耐震補強工事 ・降雨／暴風などの異常気象対策
C	インフラ老朽化・長寿命化対策	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線鉄道大規模改修 ・新幹線レール交換 ・鉄道、道路、橋りょう、高架橋、建築構造物などの補強・維持・更新
D	東京オリンピック・パラリンピック／インバウンド	<ul style="list-style-type: none"> ・競技会場周辺駅等の改良 ・首都圏ホテル建設活発化 ・暑熱対策
E	鉄道ネットワークの機能・利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・品川再開発プロジェクト(新駅・線路切替・街づくり) ・中央快速線等へのグリーン車サービスに伴う駅・線路改良 ・羽田アクセス線構想
Y	新しい展開／深掘りする新規事業	<ul style="list-style-type: none"> ・国土強靱化計画・地方創生 ・建築構築物の長寿命化・リノベーション・コンバージョン ・海外関連

(2) <「成長戦略(X軸×Y軸)」に関する施策>

- ・良好な事業環境を活かした各種施策を展開し、「成長戦略」に取り組みます。

X軸戦略(横軸) = 「顧客層」のウイングを拡大	Y軸戦略(縦軸) = 「業域」の深掘りによる拡大
<ul style="list-style-type: none"> ・JR東日本関連業務に経営資源を重点投下した上で、 ・「土木／官公庁」「建築／民間一般」など、新たな顧客層のウイング拡大を図り、受注力を強化します。 <p>①JR東日本関連業務＝当社最大の強み・使命</p> <p>最大最重要顧客であるJR東日本からの受注・パートナーシップは当社の最大の強みであり、安全な工事の遂行は社会的使命。</p> <p>⇒JR東日本関連業務に経営資源を継続的に重点投下し、徹底的に強化。</p> <p>②顧客層のウイング拡大</p> <p>その上で、新たな顧客層のウイング拡大を図る「成長戦略」を継続展開。</p> <p>⇒JR東日本以外の顧客からの受注力を、一層強化。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・線路：私鉄・公共鉄道 ・土木：官公庁・私鉄 ・建築：民間一般・官公庁・私鉄 <p>③提案型営業力強化・リピーター受注拡大</p> <p>提案型営業力を強化するとともに、過去に受注した顧客の新規・リニューアルニーズの掘り起こし、提案。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当社の「強み」である業務分野を徹底的に強化した上で、 ・関連業域の深掘り／新しい成長機会に挑戦します。 <p>①当社の強みである業務分野は徹底的に継続強化</p> <p>⇒ 鉄道関連工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会インフラ関連工事 ・防災・耐震・免震・老朽化関連・復興関連工事 ・住宅・非住宅建設工事 ・少子・高齢化関連工事 ・メンテナンス関連工事 ・環境関連工事 <p>②その上で、関連業域の深掘りによる拡大強化／新しい成長機会に挑戦</p> <p>⇒関連業務の業域拡大／提案力の強化。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新幹線鉄道大規模改修及び新幹線レール交換 ・建築構築物の長寿命化、リノベーション、コンバージョンなど ・設計・施工の拡大 <p>⇒新しい社会環境の変化、時代の要請に応じた業域の拡大。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピック関連事業 ・国土強靱化計画・地方創生事業 ・省エネルギー、ZEB化、グリーンインフラ・雨水利用などの環境事業（SDGs、ESGを意識） ・海外関連事業

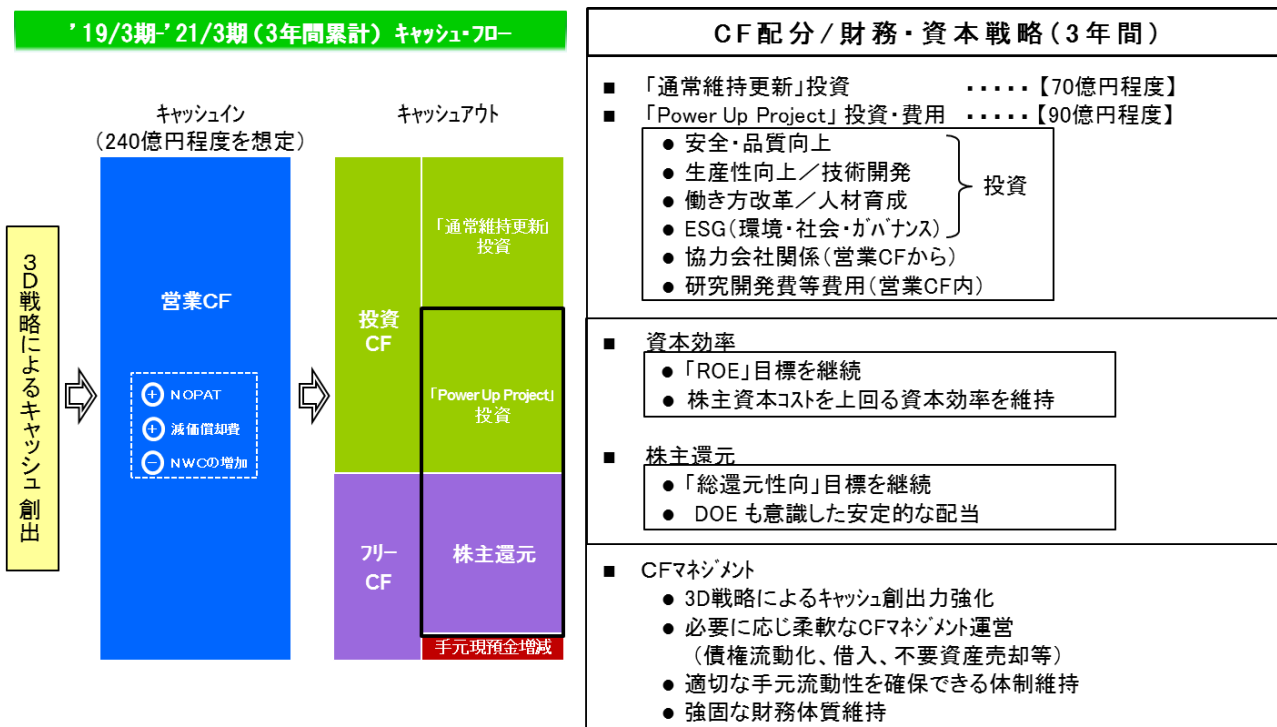
(3) <「クオリティ戦略(Z軸)」／「Power Up Project」に関する施策>

- ・「質」を向上させることで、企業価値を高める「クオリティ戦略」においては、安全・品質・技術力・人材力・生産性・ESGなどにおける「基礎体力」を一段と強化するための「Power Up Project」を新たにスタートさせます。
- ・事業活動により創出されたキャッシュを有効に活用し、以下の4つの重要なテーマにおいて、それぞれの各種施策・投資を推進します。

「Power Up Project」取り組み施策
<p>Z-1「安全・品質向上」</p> <ul style="list-style-type: none">・「究極の安全と安心」の追求<ul style="list-style-type: none">・安全・作業環境向上ツール開発・導入・鉄道用機械の開発・改良・大規模災害時のBCP対応投資 など・「安全のPDCA」サイクル導入による安全レベルの向上・品質向上への取り組み強化<ul style="list-style-type: none">・各種機械・ツール開発・導入・品質トラブルの再発防止、PDCAサイクルによる管理レベル向上
<p>Z-2「生産性向上／技術開発」</p> <ul style="list-style-type: none">・鉄道工事を中心とした「東鉄型イノベーション」の推進・技術開発力の強化・施工力の強化・保線用機械メンテナンス体制の強化
<p>Z-3「働き方改革／人材育成」</p> <ul style="list-style-type: none">・現場業務負担軽減・総労働時間の削減<ul style="list-style-type: none">・業務支援ツール開発・導入・生産性向上のための業務改善・働き方改革・女性社員等の活躍推進・協力会社との連携・支援強化・教育研修制度の再構築（新研修センター建設など ソフト・ハード両面）・適正な工期設定、工事平準化等についての発注者への理解要請
<p>Z-4「ESG（環境・社会・ガバナンス）」</p> <ul style="list-style-type: none">・「E」：環境への取り組み・「東鉄ECO₂プロジェクト」の推進・強化・「S」：女性等活躍推進等の取り組み強化・「G」：「攻め(収益力/資本効率)」と「守り(リスク管理)」の両方を重視したコーポレートガバナンス経営の推進・強化

5. 『東鉄 3D Power Up 2021』 CF配分/財務・資本戦略

「追い風環境」の今だからこそ、創出キャッシュを「Power Up Project」に有効活用します。



6. 数値目標

以上の施策により、中期経営計画最終年度である2021年3月期には、下記の増収増益目標に挑戦いたします。なお、資本効率や株主還元目標は維持継続してまいります。

(連結)	2021年3月期(最終年度目標)
売上高	1,400億円
営業利益	140億円

ROE	10%以上
総還元性向	30% (DOEも意識した安定的な株主還元)

以上のとおり、新しい「中期経営計画(2018~2021)『東鉄 3D Power Up 2021』」におきましては、その基本方針、及び基本戦略である「3D戦略」に基づき、「成長戦略」によりキャッシュ創出力を一層強化する一方、このキャッシュを有効に活用し、新たにスタートする「Power Up Project」の各種施策・投資を推進することにより、当社の「基礎体力」を一段と強化し、「社会的使命」をしっかりと果たすとともに、「企業価値向上」と「持続的成長」、及びステークホルダーとの「共通価値の創造」を図ってまいります。

さらに、この「Power Up Project」により伸ばしたZ軸を基に、さらなる「成長戦略」(X軸×Y軸)の展開を図り、「堂々たる成長と飛躍」(「Jump」)につなげてまいります。

以上

免責事項

本資料は、当社の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。
従いまして、実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。

お問合せ先：東鉄工業株式会社 経営企画本部
経営企画部 飯塚 博之 松川 陽一
広報・IR部 新妻 誠 横田 大輔
TEL:03-5369-7611
HP URL :<http://www.totetsu.co.jp>